

芝浦工業大学柏高等学校

2023年度高校入試分析

国語

全体を通して

第1回・第2回ともに「論説文」「随想または小説」「古文」の3題構成、および各回それぞれの設問も、問数・設問内容・レベルが同じになるように作られています。すべて選択式問題ですが、漢字の問題、文章を踏まえて議論をすすめてその展開を問う問題、古文の問題で差がついています。

差のついた問題について

- ①漢字の問題（2回一（1）⑤「肥沃」）で20%近い差がつかしました。同音異義語なども含め、語句の知識を深めましょう。普段から論説文などを読み、知らない語は調べるように習慣づけるとよいでしょう。
- ②論説文では、ただ文章を読むだけでなく、二つの文章を比べ読みしたり、筆者の主張を読んで（根拠にして）自分の意見をもったり具体例を考えたり、本文全体の趣旨を問うなどの、思考力を問う問題を継続して出題しています。普段から文章を読む際に難しい語句や内容を自分なりにかみくだいて理解し、それに対する意見を持つようにしておきましょう。
- ③小説でも論説文と同様に本文中に根拠をもつことを忘れてはいけません。答えを確定させる前に、思い込みによらないように必ず本文に立ち返るようにしましょう。表現の特徴を問う問題もなんとなくではなく、きちんと本文中の表現に戻って判断するようにしましょう。
- ④古文では、1、2回とも、いくつかの問題で10～20%前後の差がついています。練習量の差であると思われます。できるだけ時間を見つけて古文に触れ、音読する機会を増やすとよいでしょう。その際、主語（動作主）が誰なのか、何をしているのか、指示語は何を指すのか、などを意識しながら読むようにしましょう。

①漢字【第2回一（1）⑤】

⑤
オ エ ウ イ ア ヒヨク
組織が徐々にヒダイする。 大臣をヒメンする。 有名作家のセキヒを探す。 心身ともにヒヘイしている。 ヒクツになる必要はない。

解答 オ

②論説文中にある「白い紙の発明」が人類にもたらした影響についての議論の展開を推測する問題【第2回一(2)】

(2) 文章中に 白い紙の発明は人類史の中でもひととき強い光を放つ出来事であったと想像される とあるが、これについてクラスで次のような話し合いが行われ、【意見1】【意見2】の意見が出された。このあと、それぞれの主張はどのように展開されると考えられるか。本文をふまえて、
i ii に入る展開内容をa～fから選び、その組み合わせとして最も適当なものを、あとのア～クのうちから一つ選びなさい。

あとの段落に紙の発明が文字や印刷を介在させた文化の発展につながったことが説明されているように、この傍線部では紙の誕生が人類に並外れた影響をもたらしたと指摘しています。さらに、筆者は紙が白いことが人類の文化史に大きく影響していると言っていますね。紙が白いことの影響について考えていきましょう。

【意見1】

筆者は、白い紙の持つイメージを、「無垢な静謐さ」や「未発のときめき」という言葉を使って説明しています。たとえば、何も書いていない部分が白い色ではなくても「余白」や「空白」という言葉で表現するように、白い紙には「まだ何もない」というイメージが強くなります。こうしたイメージやそれに対する人間の気持ちに注目すると、紙が白いことがどう影響しているかも見えてくるのではないかと思います。

↓
i

【意見2】

文章中には、紙が白色でない場合を仮定して、紙が白いことの効果

を説明しています。紙が白くない場合に考えられるのは、黒い色で書いた文字や図がとも見えづらいことです。このように紙が白くない場合を想定して考えると、白い紙が発明されたことは、人間が紙をどのように使い、どのようなことを感じるかにも影響していると思います。

↓
ii

a 紙の色が、利便性を重んじて白になったという経緯が説明され、その白さが自由さの象徴で人間がさまざまな色に改良できる可能性を秘めていたため、広く使用されたという主張が展開される。

b 紙の白さが書かれたものを際立たせ、紙の使いやすさにつながっていると指摘し、そうした白い紙に書かれたものを見るときの心地よさが、紙の発明を特別なものにしたという主張が展開される。

c 紙の白さは、紙を誕生させた人間の知識や理想を象徴しているということが説明され、その達成感がさらなる人間の創造欲を生むことにつながり、文化を発展させたという主張が展開される。

d 白い紙は、書かれたものがどのような形、色でも劇的な対比を生むことが指摘され、このように白い紙の存在を人間があまり意識しなかったことが、文化の発展につながったという主張が展開される。

e 白い紙の持つ独特の存在感が、人間の関心を引きつけてそれを使わなければいけないという思いにさせるため、表現するための媒質として白い紙が選ばれたという主張が展開される。

f 白い紙が内包している力や雰囲気、人間にとって好ましいもので、新しく何かを表現しようという前向きな気持ちにさせるため、紙が広く使われ文化の発展につながったという主張が展開される。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|------|---|---|-----|---|------|---|
| ア | (i) | a | (ii) | c | イ | (i) | c | (ii) | f |
| ウ | (i) | c | (ii) | e | エ | (i) | d | (ii) | a |
| オ | (i) | e | (ii) | b | カ | (i) | e | (ii) | c |
| キ | (i) | f | (ii) | b | ク | (i) | f | (ii) | e |

解答 キ

③小説文の情景描写や表現についての問題【第1回二(7)】

(7)

この文章の情景描写や表現についてクラスで話をしている。本文の内容をふまえて最も適当な発言をしているものを、次のア～オのうちから一つ選びなさい。

ア 最後の場面では、小学生の妹の姿を黄色い小鳥に見立てています。このように情景をユーモラスに表現することで、「ぼく」と水原がすっかり打ち解けて親しくなったことを示しているのだと思います。

イ 最後の部分では、それまでと話題が変わり、曇り空に似合う色についての発見や季節の移り変わりが描写されています。これらは、このあと「ぼく」の発想に変化が生じることを暗示していると思います。

ウ 水原が「ぼく」と元気に資料を見せる場面では、水原の険しい表情に焦点を当てた描写があります。さわがしい二人と厳格な水原の様子を対照的に描くことで、場面に緩急をつけているのだと思います。

エ 場面は教室から歩道橋へと移動していきますが、そのどちらでも人物の背後の風景まで丁寧に描写しています。その描写によって「ぼく」と水原の気持ち少しずつ近づいていることが感じられます。

オ 「ぼく」と水原がそれぞれ思い描くキャンドルナイトの光景がいくつか描写された部分があります。このことによって、キャンドルナイトに対する二人の憧れが一致していることが読みとれます。

解答 イ

④古文中の傍線部の解釈についての問題【第1回三(2)】

(2)

文章中のこの人、歌よまんとおもふ心ありてなりけり^Aの意味として最も適当なものを、次のア～オのうちから一つ選びなさい。

ア この人は、その場にいる人たちにせがまれることがあれば、自分の歌を披露しようという気持ちがあつた

イ この人は、大勢の人がいる前で歌など披露したくないという心持ちで来訪したのだった

ウ この人が歌を詠もうという向上心にあふれていることには、その場にいる人たちも感心したのであつた

エ この人がわざわざ来訪したのは、歌を披露してみせようという下心があつたためだった

オ この人が歌を詠まないでおうと考えていることは、その場にいる人たちもみな知っていたのだった

解答 エ